

3日(土)	公民館サロンコンサート「ギターが奏でる魅惑の映画音楽♪」
17日(土)	くるみるやさしい市
20日(火)~3月4日(日)	北村裕花原画展

郷土資料室では、企画展示「西多摩の埋蔵文化財展」を4月15日(日)まで開催中です。ぜひお出かけください。



今号の主な記事

2面市ホームページのバナー広告を募集します 3面消費者啓発「電柱巻付看板」を設置します 4面公営住宅への入居者募集 5面障害および難病に関する手当について 6面要介護認定調査嘱託員募集 8面図書館からのお知らせ



この日、くるみるやさしい市に出品していた生産者の方々(左から) 村野正さん、石川恵一さん、村野和男さん、小山明男さん、森田龍幸さん

地場産野菜という選択肢。

■知っておいしい、福生の野菜。

福生市は、農地面積が東京26市中、最も小さいまち。市街化が進み、農地は今も縮小傾向にあります。そうした中でも、市内で農家を営む方々は、日々、福生産の野菜づくりを続けています。

近年では、福生産の落花生「はっ！ぴー☆ナッツ」の作付面積を増やしたり、減農薬で生産した一部の野菜が「東京都エコ農産物」の認証を受けるなど、新しい動きも。

また地場産野菜は、市内小・中学校の給食用食材としても提供されていて、子どもたちの大切な体を作る助けとなっています。

■畑から食卓へ。採れたての地場産野菜が買える「くるみるやさしい市」。

少ない農地ながら、地域の「食」を支えている大切な地場産野菜。JAにしたま福生支店直売所では毎週月～金曜日午前9時～午後5時の間、観光案内所「くるみる ふっさ」では毎月第三土曜日開催の「くるみるやさしい市」で購入することができます。

ぜひ採れたての新鮮な野菜を味わってみてください。

※次回の「くるみるやさしい市」は2月17日(土)に開催。詳細は2面をご覧ください。

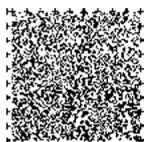


くるみるやさしい市には、ついさっき採れたばかりの新鮮野菜が並ぶ



謝を忘れずに生きていきたいと思えます。

「仕事は全力でやり通せ。行き詰ったときの壁や困難はこれから無数にある。形ができてからとことん粘れ。安易に弱音を吐くことは許さん。」
あまりにも厳しいはなむけの言葉に、困惑してしばし沈黙していると、「全力を傾注しても望む結果が出ないことがある。その時には会いに来るか一本電話をして来い。」最後はこう結ばれました。
見守っているから恐れずに困難に立ち向かえ、厳しくも優しいこの言葉を胸に、常に全力投球してきました。これからも、支えてくれる人への感謝を忘れずに生きていきたいと思えます。



全力投球

福生市長 加藤育男



武蔵野橋渡り初め式典にて

成人の日に

平成30年福生市成人式が行われました。今年の新成人は男384人、女339人の合計723人。会場の新成人たちは思い思いの衣装に身を包み、厳粛な面持ちで式に臨まれました。これからの社会人としての長い人生に幸多かれと、心から願うものです。

私も、社会人生活40年を超えて思い返してみると、本当に沢山の方々にお世話になってきたとしみじみと感じます。大学を卒業し就職するときに、大学野球部の恩師から言われたことがあります。

「仕事は全力でやり通せ。行き詰ったときの壁や困難はこれから無数にある。形ができてからとことん粘れ。安易に弱音を吐くことは許さん。」